



山口 敏子 議員

## 市営火葬場の待合室の増設を

問

市営火葬場の待合室増設について尋ねる。

(1) 現在、利用人数は家族20人ほどと聞いているがどうか。

(2) 待合室で食事を取ることも多いと聞いているが、足が不自由な人は和室では座ることができない。

市都市計画マスタープランに記されたユニバーサルデザインを取り入れ、段差をなくし、いすとテーブルの待合室を増設してはどうか。  
 (3) 待合室の増設はあり得ないのかを市長に聞く。

## 火葬炉の修理後考えていきたい

答 環境課長

(1) 利用は一遺族20人で

周知している。

(2) 12年に一部改装し、車いすのスロープを設置した。ロビーにはいすが、和室前にもソファを置いている。また身体障害者用トイレも改装したので、そちらを利用してほしい。

待合室の増設は敷地の問題もさることながら、(現在2人の)運営、管理体制を総合的に検討していくべきかと思っている。

答 市長

(3) 3基の火葬炉のうち、2基を修理しなければならぬ。優先順位を見極め炉の修理、そして待合室を考えていきたい。

## 三ツ又池公園に記念樹を

問

三ツ又池公園の市民参画について聞く。

(1) 健康フェスタや中学生の持久走大会の会場として、少しずつ使われていると思うが、今後の計画は。

(2) 公園は幼木が多く木陰がない。

市民に結婚、入学等の記念樹を募集してはどうか。  
 (3) 自分の植えた木が育てば、見に来たり手入れしたくなるような公園になるのではないか。

ポランティアでアジサイを植えたが、その成長は本当につれしいことだった。公園の緑のボランティアを募集してはどうか。

## よく協議し、検討していきたい

答 農政課長

(1) 21年12月に歩こう会、1月にロードレースが開催される。また県の造園建設業協会により2月下旬に植樹祭、3月上旬に贈呈式を



市民団体等によるシバザクラ植樹

予定している。

(2) 21年11月にシバザクラ植樹祭を開催し、9団体160人に参加してもらった。

記念樹は対象者、植樹場所、樹木の大きさ、管理についてよく協議の上、検討していきたい。

答 企画政策課長

(3) 20年度から地域づくり補助金を創設し、(環境美化団体等に補助金を)交付している。

22年度も環境美化団体の申請があれば主管課等に情報提供し、またボランティアとして活躍してもらえればと考えている。